

科学技術の潮流

JST研究開発戦略センター

177

つながる工場

「インダストリー4・0（第4次産業革命）」を提言したのが2011年

について新たな提言が出されたりしている。所のヴァルスター氏は、だからこそ産業用デジタルサービスとりわけB2C（対消費者）市場では米・中の後塵を拝するドイツだが、従来から強みを有する機械や化学製品について新たな提言がされる。所のヴァルスター氏は、だからこそ産業用人工知能（AI）の研究開発を重点領域としてインダストリー4.0を引き続き推進すべきだ、と語っている。

独、インダストリー4.0進化中



科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター 澤田朋子
フェロー（海外動向ユニット）

か、世界の産業構造を根本から覆すとか、かなりインパクトの強い報道がなされていた。ドイツでは、この10年を振り返り昨年から今年にかけて、さまざま

00年ミエンヘン大学政治学部大学院修了（国際政治学専攻）。帰国後はIT系ベンチャー企業でウェブマーケティング事業の立ち上げに参加。13年より現職。

産業革命の4段階	
世界初の 機械織機 1784	世界初の ベルトコン ベルト 1870
	

ヤー	生産をさらに自動化するために電子機器およびITを使用した 第3次産業革命	サイバー・ファジィカル システムを基礎とした 第4次産業革命
ーを用 比した 導入に 革命		
1970年代初頭、20世紀	今日	時間 ▶

されている場合があると分析している。とりわけ中小企業ではデジタル化のビジョンとスキルを有した人材の欠如が大きいとしている。学問のあり方も問わされている。蒸気機関の登場で産業革命が進むと、19世紀には理論的研究に裏付けられたエンジニアリングの学問が必要となり、20世紀

第4次産業革命と命名された現在のサイバームの研究開発にも、新しい学問分野の創成が必要ではないかとの議論がドイツにある。インダストリー4・0推進協議会がデジタル分野の教育と人材育成が急務であることを指摘している。インダストリー4・0は道半ば。10年間の製造業のデジタル化進歩を真剣に振り返るドイツの姿勢は日本にとっても参考になるのではないか。

第4次産業革命と命名された現在のサイバームの研究開発にも、新しい学問分野の創成が必要ではないかとの議論がドイツにはある。インダストリー4・0推進協議会がデジタル分野の教育と人材育成が急務であることを指摘している。インダストリイー4・0は道半ば。10年間の製造業のデジタル化進歩を真剣に振り返るドイツの姿勢は日本にとっても参考になるのではないか。

日本で機械工学分野が大学に設置された。その後の電子工学や情報工学の誕生も産業の発展と切り離せない関係にある。